

解禁日時：2023年9月20日（水）8:00AM（日本時間）

2023年9月20日

LEXUS 初の水素エンジン搭載車「ROV Concept」のシートバックサポーターに 三次元網状繊維構造体「ブレスエアー®」が採用

東洋紡エムシー株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長執行役員 CEO:森重 地加男、以下「当社」)が製造販売する三次元網状繊維構造体「ブレスエアー®」が、Lexus International(以下、LEXUS)が開始するLEXUS 初の水素エンジン※1を搭載した「ROV※2 Concept」(以下、ROV)のお客様向け体験プログラム※3に使用されるクルマの「シートバックサポーター」に採用されました。このシートバックサポーターは、必要に応じて座席の背もたれの前に置いて使用しますが、ROV のドライビングポジションにこだわる発想のもと、より多くのお客様に快適なドライビングを楽しんでいただくために機能します。

大自然と共生しながらアウトドアライフスタイルを彩るクルマの楽しさを追求するとともに、お客様の体験プログラムを通じて蓄積されるデータを将来の実用化に向けた技術開発にフィードバックし、カーボンニュートラル社会の実現に向けた挑戦を進めてまいります。

「ブレスエアー®」は、当社の熱可塑性ポリエステル系エラストマー「ペルプレン®」を用いた三次元網状繊維構造体です。通気性が高いため着座中の蒸れを抑えられるほか、網状構造のため車体を丸洗った際にも保水しません。加えて、ウレタン素材より薄型化ができること、水平リサイクル(マテリアルリサイクル)が可能であることなどが評価され、採用に至りました。

シートバックサポーターは、内側のクッション層(「ブレスエアー®」)と外側のカバー層で構成されますが、カバー層には東洋紡グループの東洋クロス株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:片山 一彦)が製造販売する、透湿性を有した車両内装用合成皮革「パーミア®」が使用されています。

※1 水素を燃焼させて動力を得る内燃機関を搭載した車のこと。

※2 ROV Recreational Off highway Vehicle の略。レスポンスの良さと、五感を刺激するサウンドを楽しみながらオフロード車でも行けない場所へ一歩踏み込み、自然と触れ合うことで、自然と共生しながら、走りを楽しむライフスタイルの実現を目指すコンセプトカー。

※3 詳細は LEXUS より順次ご案内予定。

◆「ブレスエアー®」概要

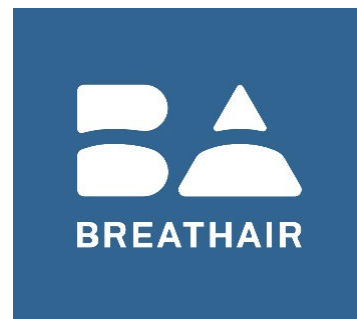
当社が製造販売する熱可塑性ポリエステル系エラストマー「ペルプレン®」を繊維状にして、立体的に接合した三次元網状繊維構造体。軽量・高反発で、耐久性や通気性に優れることから、1996年の上市以来、一般用・業務用寝具、新幹線などの鉄道車両や船舶の座席シート、オートバイやベビーカーなど幅広い用途で採用されてきました。マテリアルリサイクルについては、製造工程内のリサイクルはすでに導入済み。現在は、使用済み製品の回収・リサイクルを目指して研究開発を行っています。



「ROV Concept」 (Lexus International 提供)



「シートバックサポーター」(写真左)と「ROV Concept」(写真右、Lexus International 提供)



三次元網状繊維構造体「ブレスエアー®」

以上

■お問い合わせ先

東洋紡エムシー株式会社 経営企画部 企画グループ Mail : info_tmc@toyobo-mc.jp Tel : 06-6348-3310